



ごんごバスにゆられて



尾子、毛利、宇喜多も狙った山城

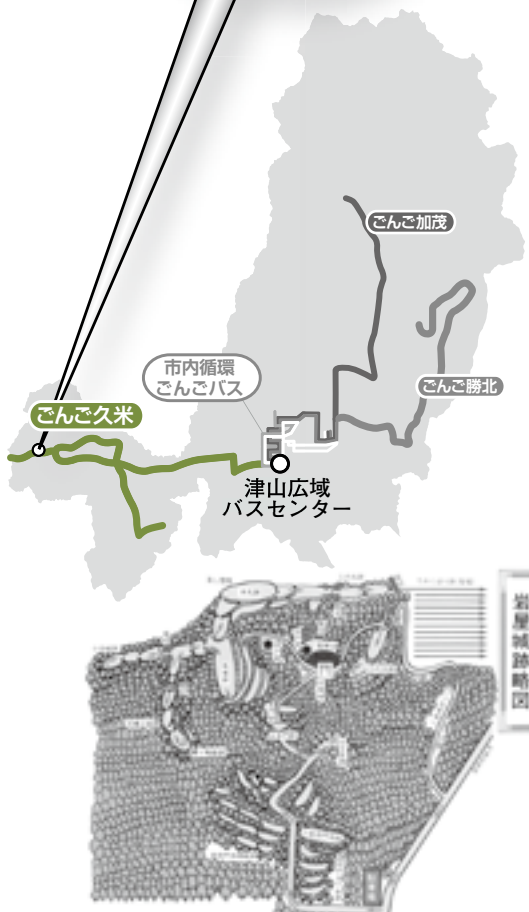
（県指定史跡 岩屋城跡）（中北上）

バス停から北に約1km行くと、岩屋城跡登り口に着きます。ここから岩屋城本丸跡のある岩屋山山頂（標高483m）までは約1kmで、成人男性なら約40分で到着します。

岩屋城は嘉吉元年（1441）山名教清が美作国の守護に任じられた時に築城されたと伝えられています。その後、天正17年（1589）に野火によって焼失するまで、山名、赤松、浦上、尾子、宇喜多、毛利の各氏

が美作国の制覇をかけて激しい攻防を繰り返した舞台となりました。

城は岩屋山の山頂に本丸を置き、本丸を中心に三方向に曲輪を配した山城で、本丸南に馬場跡と呼ばれている大規模な曲輪を、西南方向には2つの砦を設け、更に西には小分城を築き防備を固めています。また、本丸の東には二の丸、その南には三の丸を配し、東の谷の固めとして12本の堅堀を設けています。加えて大



手南斜面に見られる大小20カ所以上の防備のための曲輪は、美作地方では他に類を見ないものです。ほかに井戸や慈悲門寺跡などの遺構を見ることが出来ます。毎年「岩屋城ウォークラリー」（本紙21ページに掲載）が開催されています。戦国の世に思いをはせ、史跡や自然を満喫しながら登ってみませんか。

問い合わせ先 文化財課

☎24・8413

※城郭内に一定区分を分かつ区域のこと



●特集

新型インフルエンザ対策3
～感染拡大を防ぐために～

○市政だより6

台風対策
さん・さん祭り2009
地域にチャレンジ！公募提案型協働事業
ほか

【まちかど写真館】.....16
津山の夏祭り ほか
【ごんごクラブ】.....18
未来をひっぱる津山人
わたしのおすすめ
【けいじばん】.....21
【くらし】.....26
【洋学博覧漫筆】.....28
～榕菴の和蘭カルタ～